

「第 15 回製剤機械技術学会 仲井賞」

受賞者の選考報告について

The 15th NAKAI Award of the Japan Society of
Pharmaceutical Machinery and Engineering

仲井賞選考委員会委員長 竹内 洋文
Hirofumi TAKEUCHI

Chair of Selection Committee of the NAKAI Award

本学会では創立 10 周年を機に、平成 13 年より表記の賞を設定し、製剤機械技術の進歩と発展に貢献した個人又はグループの功績を顕彰しております。

第 15 回は応募件数が 2 件で、仲井賞選考委員会(平成 27 年 1 月から 2 月の持ち回り審議)において、新規性、実用性、社会における貢献度の観点から、慎重かつ厳正に審査した結果、下記の候補者を「第 15 回製剤機械技術学会 仲井賞」受賞者として会長に報告し、理事会にて受賞者が決定しました。

記

受付番号：26-01

受賞者：中川弘司、吉川義人、松浦和弘、田邊修一、渡部知行（第一三共株式会社）

受賞業績題目：Enhanced QbD を適用した製剤開発の実現

受賞理由：候補者らは、CMA を導入した QbD に基づく管理戦略と PAT の基盤技術を開発した。さらに、本技術を適用することで、RTRT による製造販売承認、QbD 下での剤形追加承認を取得している。本手法は、PAT の実用化、QbD 申請および継続的改善の実例として、製剤開発の進展に大きく貢献した。本業績は、新規性、社会的貢献度から特筆すべきレベルと判断でき、仲井賞に正に相応しい業績であると考えます。

受付番号：26-02

受賞者：大山潤、北村直成、中岡利宏、佐藤隆行（株式会社菊水製作所）

受賞業績題目：コンテインメントに対応した錠剤機（打錠機）の開発

受賞理由：候補者らが開発したコンテインメント対応錠剤機は、高度な封じ込め性能を有している。本装置は、作業環境や洗浄性の確保など従来の打錠機に比べ、優れた実用性を兼ね備えており、設置台数から見ても、実際の生産工程での有用性を高く評価できる。候補者には、国内ユーザーのニーズを反映した装置開発への今後の更なる貢献を期待する。本業績は、進歩性、社会的貢献度から特筆すべきレベルと判断でき、仲井賞に正に相応しい業績であると考えます。

以上